

2026年度 学生募集要項

青山学院大学大学院

国際政治経済学研究科

国際政治学専攻

国際経済学専攻

国際コミュニケーション専攻

博士後期課程(昼夜開講制)

一般入試

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

国際政治学専攻

知識・技能

- ・国際政治学に関する高度で専門的な学術研究を行うために必要とされる大学院修士課程修了レベルの理論的研究能力と語学力および幅広い専門知識を有している。

思考力・判断力・表現力

- ・大学院修士課程修了レベルの理論的研究能力と語学力および幅広い専門知識に基づいて、論理的に思考し、判断し、表現できる能力を有している。

意欲・関心・態度

- ・国際社会のあり方についてとくに国際政治の観点から関心を有している。
- ・国際政治学に関する専門的な学術研究に真摯に向き合う用意がある。

国際経済学専攻

知識・技能

- ・国際経済学に関する高度で専門的な学術研究を行うために必要とされる大学院修士課程修了レベルの理論的研究能力と語学力および幅広い専門知識を有している。

思考力・判断力・表現力

- ・大学院修士課程修了レベルの理論的研究能力と語学力および幅広い専門知識に基づいて、論理的に思考し、判断し、表現できる能力を有している。

意欲・関心・態度

- ・国際社会のあり方についてとくに国際経済の観点から関心を有している。
- ・国際経済学に関する専門的な学術研究に真摯に向き合う用意がある。

国際コミュニケーション専攻

知識・技能

- ・国際コミュニケーションに関する高度で専門的な学術研究を行うために必要とされる大学院修士課程修了レベルの理論的研究能力と語学力および幅広い専門知識を有している。

思考力・判断力・表現力

- ・大学院修士課程修了レベルの理論的研究能力と語学力および幅広い専門知識に基づいて、論理的に思考し、判断し、表現できる能力を有している。

意欲・関心・態度

- ・国際社会のあり方についてとくに国際コミュニケーションの観点から関心を有している。
- ・国際コミュニケーションに関する専門的な学術研究に真摯に向き合う用意がある。

- 国際政治経済学研究科各専攻のディプロマポリシー（修了認定・学位授与の方針）、カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）、および教育研究上の目的は本学ホームページにてご確認ください。



合否判定の方法および基準

各専攻のアドミッションポリシーで定める知識・技能、思考力・判断力・表現力、意欲・関心・態度を多面的・総合的に評価し、合否を判定します。

目 次

沿革・教育組織・学位	2
------------	---

《博士後期課程》

募集人員	3
出願資格	3
試験科目	4
出願書類	4
入学検定科	5
出願手続	8
入学試験日・試験時間割	8
出願・試験についての注意事項	9
合格発表・入学手続	9
青山学院大学若手研究者育成奨学金	10
学費等	11
入学辞退願提出について	11
一般的注意事項	12
教員組織	13

問い合わせ先：青山学院大学学務部教務課
国際政治経済学研究科担当
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25
電 話：03 (3409) 9523
e-mail: in-kokusai@aoyamagakuin.jp

個人情報の取り扱いについて

出願に際してお知らせいただいた住所、氏名、電話番号、生年月日等の個人情報は、①出願受付、②入学試験実施、③合格発表、④入学手続とこれに付随する業務を行うために利用します。

沿革

国際政治経済学研究科は、1986年4月、豊かな21世紀の未来を切り開き、総合的視野に立脚し、独創的な新しい知見を生み出し、人類共通の知的資産を継承し発展させていく人材育成のために、国際政治経済事象の高度専門教育研究の場として、5年一貫制博士課程の「国際政治学専攻」と「国際経済学専攻」が創設された。翌年には「国際経営学専攻」が増設された。そして、1990年4月、わが国産業社会の情報化、国際化、科学技術の一層の進展に伴う諸変化に応えた高度専門職業人育成の大学院教育の場として「国際ビジネス専攻」修士課程が、1996年4月、「国際コミュニケーション専攻」修士課程がそれぞれ増設され、そして、1998年4月、両専攻の修士課程の上に博士後期課程がそれぞれ増設された。2001年4月、「国際ビジネス専攻」と「国際経営学専攻」は統合して、「国際マネジメント研究科国際マネジメント専攻」を組織し、「国際政治学専攻」と「国際経済学専攻」は一貫制から区分制に改組された。

1874年	11月	青山学院源流の開講
1949年	4月	新制大学青山学院大学の発足
1982年	4月	国際政治経済学部の開設
1986年	4月	国際政治経済学研究科5年一貫制博士課程「国際政治学専攻」および「国際経済学専攻」の設置
1987年	4月	「国際経営学専攻」の増設
1990年	4月	「国際ビジネス専攻」修士課程の増設
1992年	4月	「国際ビジネス専攻」修士課程の昼夜開講制の開始
1996年	4月	「国際コミュニケーション専攻」修士課程の増設
1998年	4月	「国際ビジネス専攻」および「国際コミュニケーション専攻」の博士後期課程の増設
2001年	4月	「国際政治学専攻」および「国際経済学専攻」の区分制への改組 「国際ビジネス専攻」と「国際経営学専攻」の「国際マネジメント研究科」への改組

教育組織

(修士課程)

国際政治学専攻	安全保障コース グローバルガバナンスコース
国際経済学専攻	国際経済コース
国際コミュニケーション専攻	国際コミュニケーションコース

(博士後期課程)

国際政治学専攻
国際経済学専攻
国際コミュニケーション専攻

学位

本研究科において授与する学位は以下のとおりです。

(修士課程)

国際政治学専攻	修士 (国際政治学)
国際経済学専攻	修士 (国際経済学)
国際コミュニケーション専攻	修士 (国際コミュニケーション)

(博士後期課程)

国際政治学専攻	博士 (国際政治学)
国際経済学専攻	博士 (国際経済学)
国際コミュニケーション専攻	博士 (国際コミュニケーション)

《博士後期課程》

募集人員

国際政治学専攻	3名
国際経済学専攻	2名
国際コミュニケーション専攻	2名

出願資格

国際政治学専攻・国際経済学専攻は下記の出願資格Ⅰ及び出願資格Ⅱを両方とも満たす者
国際コミュニケーション専攻は出願資格Ⅰを満たす者

出願資格Ⅰ

下記のいずれかに該当する者。

1. 修士の学位または専門職学位を有する者及び2026年3月取得見込みの者
2. 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月取得見込みの者
3. 文部科学大臣の指定した者
4. 日本において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月取得見込みの者
5. 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時に24歳に達したもの

上記5により出願を希望する者は、各研究科で個別の入学資格審査を受ける必要があります。出願期間一ヶ月前に学務部教務課 国際政治経済学研究科担当に相談し、指示を受けること。

出願資格Ⅱ<国際政治学専攻・国際経済学専攻>

英語資格または日本語資格を有する者（母語は除く）

英語の場合

下記1～4のいずれかの英語資格を有する者

1. TOEIC730 点以上取得
2. TOEFL PBT550 点以上、iBT79 点以上取得
3. IELTS (Academic Module) オーバーオール・バンド・スコア 6.0 以上取得
4. 英検準1級以上の合格またはCSE スコア 2300 点以上

注①：TOEIC・TOEFL・IELTS は過去3年以内のスコアのみ有効

注②：TOEIC の IP テスト、TOEFL の ITP テストは対象外とする。

日本語の場合

下記1あるいは2のいずれかの日本語資格を有する者

1. 日本国際教育支援協会及び国際交流基金が実施している「日本語能力試験」N1合格
2. 日本学生支援機構が実施している「日本留学試験（日本語）」（記述を除く）で240点以上取得
※「日本留学試験（日本語）」の場合は、2024年11月～2025年11月実施分のみ有効

*ただし、国際政治学専攻においては、研究テーマによっては英語あるいは日本語資格の代わりに、申請により認められた場合以下の言語で受験することができる。（母語を除く）。

ドイツ語、中国語、ロシア語、フランス語、スペイン語、韓国語

試験科目

■国際政治学専攻

■国際経済学専攻

第一次審査：論文審査

第二次審査：口述試問（書類審査を含む）（第一次審査合格者に対して行います）

*国際政治学専攻で、英語あるいは日本語資格の代わりに、他の言語で受験することが認められた場合

第一次審査：外国語、論文審査

第二次審査：口述試問（書類審査を含む）（第一次審査合格者に対して行います）

■国際コミュニケーション専攻

第一次審査：外国語

英語、日本語より1科目選択（母語を除く）。

ただし、研究テーマによって、申請により認められた場合以下の言語で受験することができる。（母語を除く）。

ドイツ語、中国語、ロシア語、フランス語、スペイン語、韓国語

選択する外国語を入学志願票、受験票・写真票に記入してください。

第二次審査：論文審査

口述試問（書類審査を含む）（第一次審査合格者に対して行います）

出願書類 ⑩も確認してください

①入学志願票〈NO. 1、NO. 2〉（**本学所定用紙**） *9ページ 出願・試験についての注意事項2参照

②受験票・写真票（**本学所定用紙**）

③カラー写真2枚（入学志願票・写真票に貼付）

*入学手続の際に別途提出する学生証用の写真も、出願時と同じ写真を提出

④出身大学院の修士課程（博士前期課程）・専門職学位課程修了（見込）証明書及び成績証明書

証明書が日本語または英語でない場合は、公的機関による証明を受けた日本語または英語の訳文を付してください。*本学大学院出身者の証明書は学務部教務課で代理発行するため、提出不要です

⑤代表する研究論文1篇

代表する研究論文のコピーを3部提出してください。

注）日本語または英語以外で執筆した論文には、必ず日本語または英語の論文要旨（A4判10枚以上）を3部提出すること。なお、論文要旨は研究論文の章立てに従って要約すること。返却しませんので必ずコピーを提出してください。

※他の出願書類とは別に1月15日（木）までに必着するように送付してください。所属学校での提出日程等によって間に合わない場合はご相談ください。

⑥研究計画書（本専攻出願動機及び入学後の研究テーマと研究計画について A4 判 2 枚 2,400 字程度にまとめる）（**本学所定の表紙**を付けてください） *9ページ 出願・試験についての注意事項2参照

⑦外国籍者は、以下の1、2のいずれかを提出してください。

1. 住民票（在留資格、在留期間等、在留期間等の満了の日、在留カード等の番号が記載されたもの）

2. パスポート（顔写真ページ）のコピーおよび在留カード（表裏）のコピー

*日本に在住していない者については、パスポート（顔写真ページ）のコピーのみ提出してください。

その際に、パスポートのコピー部分に被らない場所に「日本に在住していない」と記載して下さい。

⑧宛名ラベル用紙（**本学所定用紙**）

宛名ラベル用紙（3枚）に送付先住所・氏名・専攻を明記し、3枚を切り離してお送りください。

受験票送付及び合格者受験番号表送付時、この宛名ラベル用紙を使用して郵送します。

⑨入学検定料「収納証明書・振込通知書」貼付用紙

入学検定料の「収納証明書」〈コンビニエンスストア・クレジット支払の場合〉または「振込通知書（大学院提出用：金融機関の収納印の押されたもの）」〈銀行振込の場合〉を、収納証明書・振込通知書貼付用紙（**本学所定用紙**）に貼り付け提出してください。

⑩国際政治学専攻・国際経済学専攻のみ

出願資格Ⅱで英語の場合：TOEIC、TOEFL、IELTS のスコアを証明するものまたは英検合格証明書

インターネットからダウンロードしたスコアは認められません。オリジナルを提出してください。<コピー不可>

出願資格Ⅱで日本語の場合：「日本語能力試験」N1 合格を証明するもの（得点の記載のある『合否結果通知書』等）または日本留学試験（日本語）で 240 点以上取得を証明する『成績確認書』（コピー不可）

ただし、国際政治学専攻で、英語あるいは日本語資格の代わりに、他の言語で受験することが認められた場合は、⑩の提出は不要。

入学検定料 35,000円

1. 入学検定料は下記のいずれかの方法でお支払いください。

・コンビニエンスストアでの支払い

6ページ「コンビニ端末での入学検定料支払方法」を参照のうえ、コンビニエンスストアのレジで入学検定料をお支払いください。その際発行される「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取り、収納証明書・振込通知書貼付用紙（**本学所定用紙**）に貼り付け提出してください。

・クレジットカードでの支払い

7ページ「クレジットカードでの検定料支払方法」を参照のうえ、入学検定料をクレジットカードにてお支払いください。決済完了後に通知されるURLよりログインし、取扱明細書をプリントアウトのうえ、「収納証明書」部分を切り取り、収納証明書・振込通知書貼付用紙（**本学所定用紙**）に貼り付け提出してください。

・銀行窓口からの振り込み

該当の振込依頼書（**本学所定用紙**）を使用し、郵便局・ゆうちょ銀行以外の日本国内の金融機関窓口で入学検定料を振り込んでください。振り込んだ際に受け取った、振込通知書（大学院提出用）を、収納証明書・振込通知書貼付用紙（**本学所定用紙**）に貼付し、出願書類として提出してください。（ATM及びインターネットバンキング等は不可）。金額が訂正されたものや収納印がないものは無効です。なお、出願受付期間を過ぎてからは振り込みできません。また、窓口営業時間にご注意ください。

2. 出願受付後、入学検定料は返還いたしません。振り込んだが出願しなかった場合は、学務部教務課にて返金の手続きをしてください。

コンビニ端末での入学検定料支払方法

下記のコンビニ端末にてお支払いください

1 お申込み

セブン-イレブン
マルチコピー機

<https://www.sej.co.jp/services/multicopy>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「**学び・教育**」よりお申込みください。



学び・教育
↓
入学検定料等支払

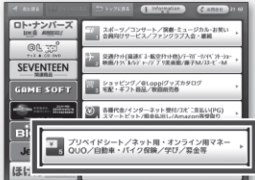
LAWSON
Loppi

<https://www.lawson.co.jp> <https://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の「**各種サービスメニュー**」よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン
↓
学び・教育・各種検定試験
↓
大学・短大、専門、
小・中・高校等お支払い

お申込みの大学 をタッチし、申込情報を入力して「**払込票／申込券**」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

2 お支払い

①コンビニのレジでお支払いください。

端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払いください。**

②お支払い後、**チケットとレシートの2種類**をお受け取りください。

「取扱明細書」(マルチコピー機)または「払込受領証」(Loppi)。

チケット形式
取扱明細書

+

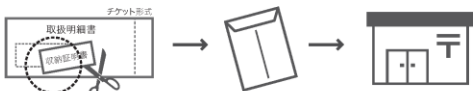
レシート

払込手数料 (税込)	入学検定料が5万円未満	550円
	入学検定料が5万円以上	770円

*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

3 出願

「取扱明細書」または「払込受領証」の「**収納証明書**」部分を切り取り、入試要項などの指示に従って郵送してください。



貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある欄は使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

【操作などのお問合わせ先】 学び・教育サポートセンター <https://e-apply.jp/> ※コンビニ店頭ではお応えできません。

クレジットカードでの検定料支払方法

24時間・365日いつでも支払いOK!

クレジットカードを利用して検定料のお支払いが可能です。



インターネット申込
クレジットカード決済



PCで下記にアクセス

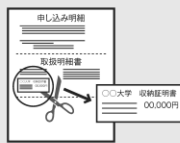
<https://e-apply.jp/e/gs-aoyama>

- | | |
|-----------------|---|
| 1. トップページ | 「申し込む」ボタンをクリック |
| 2. 研究科選択 | 研究科を選択してください。 |
| 3. 入試選択 | 受験される入試を選択して「次へ」ボタンをクリック |
| 4. 留意事項 | 留意事項の内容を確認・同意して「次へ」ボタンをクリック |
| 5. 基本情報入力 | 申込者本人の基本情報を入力し「個人情報取扱方法」に同意し「次へ」ボタンをクリック |
| 6. 申込内容確認 | 申込された情報を確認し、問題なければ「申し込む」ボタンをクリック |
| 7. 受付番号確認 | 受付番号(12桁)を控え、「次へ」ボタンをクリック
(登録されたメールアドレスにも通知されます。) |
| 8. クレジットカード情報入力 | 支払に利用するクレジットカード番号(16桁)等必要な情報を入力し、「クレジットカードにて支払う」をクリック
*お支払いされるカードの名義人は申込者本人以外でも構いません。 |
| 9. 決済完了 | 完了後に通知されるメールアドレスに記載のURLよりログインいただき、取扱明細書をプリントアウトしてください。
*メール通知が届かない場合は、TOPページの「申込内容を確認する」ボタンをクリックし、「受付番号(12桁)」「(登録時の)メールアドレス」「生年月日」でログインしてください。 |

印刷した「収納証明書」と必要書類を、出願用封筒に入れる。



必要書類



郵便局から
郵送にて出願。



【注意事項・よくあるお問合せ】

- 出願期間を入試要項でご確認のうえ、出願に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日は23:59までにカード決済を完了させてください。
- 検定料の他に、払込手数料(税込)が別途かかります。
払込手数料(税込):30,000円未満…手数料 609円、30,000円以上50,000円未満…手数料 986円、50,000円…手数料 1,108円
- クレジットカードの名義人は、申込者本人以外でも構いません。但し、基本情報入力画面では、必ず申込者本人の情報を入力してください。

- メール通知が届かない場合は、TOPページの「申込内容を確認する」ボタンをクリックし、「受付番号(12桁)」「(登録時の)メールアドレス」「生年月日」でログインしてください。
- 一度お支払された検定料は、出願後は一切返金できませんのでご注意ください。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。

「クレジットカードでの検定料納入」について不明点がある場合は、トップページの「はじめに」から「お問い合わせ先」をご覧ください、「学び・教育サポートセンター」までお問い合わせください。

出願手続

①願書受付

すべて郵送受付とします。出願用封筒表紙（**本学所定用紙**）を市販の封筒（A4判 角形2号）に貼付のうえ、簡易書留・速達扱いで郵送してください。（出願用封筒表紙は、カラーで印刷してください。カラー印刷できない場合は、上部の横線部分を、赤線で囲ってください）

②受付期間 2026年1月5日（月）～1月7日（水）（受付最終日消印有効）

出願の際は、出願書類及び入学検定料の振込通知書を封入してください。

ただし、代表する研究論文のコピー（3部提出）は、1月15日（木）までに必着するように別便にて送付してください。（研究論文のコピーのみ教務課窓口でも受け付けます）

送付先

〒150-8366 渋谷区渋谷4-4-25 青山学院大学 学務部教務課 国際政治経済学研究科担当宛

③受験票は本人宛に返送します。

④受付事務・郵便事情等により受験票の返送が多少遅れることがあります。なお、入学試験日の3日前までに受験票が未着の場合は学務部教務課 国際政治経済学研究科担当に問い合わせてください。

⑤一旦受け付けた出願書類は一切返還しません。

⑥書類・入学検定料不備のもの及び受付最終日を過ぎた消印のものは受理せず返送します。

⑦年末年始期間（2025年12月25日～2026年1月4日）は、出願に関する各種問い合わせについては対応できませんのでご注意ください。

入学試験日・試験時間割

■国際政治学専攻

■国際経済学専攻

第二次審査		
2026年 2月28日（土）	当日の集合時間及び会場は第一次審査合格者受験番号表送付時にお知らせします。	口述試問

ただし、国際政治学専攻で、英語あるいは日本語資格の代わりに、他の言語で受験することが認められた場合

第一次審査：2026年1月24日（土） 12：30～14:00 外国語

第二次審査：2026年2月28日（土） 口述試問

当日の集合時間及び会場は第一次審査合格者受験番号表送付時にお知らせします。

■国際コミュニケーション専攻

第一次審査			第二次審査		
2026年 1月24日（土）	12：30～14：00	外国語	2026年 2月28日（土）	当日の集合時間及び会場は第一次審査合格者受験番号表送付時にお知らせします。	口述試問

出願・試験についての注意事項

- ①志願者は、11月末を目途に学務部教務課 国際政治経済学研究科担当へ出願予定について申し出ることが望ましい。
- ②出願書類は、志願者自身が作成した文章で提出してください。人工知能等が自動生成した文章や他者が作成した文章の使用を禁じます。
- ③自己の学歴や語学力等を証明する証明書については必ずオリジナル(原本)を提出してください。なお、提出した各種証明書の返却を希望する場合〔但し、卒業（見込）証明書及び成績証明書は除く〕は、返却希望である旨を証明書に付箋等で明記のうえ、返信用の封筒（宛名を記入し、切手を貼付のこと）を同封された場合に限り返却します。なお、出願前にオリジナルを学務部教務課に直接持参のうえ、学務部教務課にてオリジナルをコピーした場合は、オリジナルに代わりコピー（承認印入り）での出願を認めます。
- ④試験はすべて青山キャンパスで実施します。
- ⑤試験場は受験票送付時もしくは第一次審査合格者受験番号表送付時にお知らせします。
- ⑥筆記試験について、受験者は、試験開始10分前までに試験場に入室してください。受験番号ラベルにより受験者ごとの着席位置が指定されていますので、自分の受験番号ラベルが貼付された机に着席してください。
- ⑦**筆記試験の開始から20分以上遅刻した者は欠席(受験資格を失う)となります。また、口述試問についても、集合時間から20分以上遅刻した者は欠席(受験資格を失う)となります。**
- ⑧筆記試験の際、辞書を使用することはできません。
- ⑨試験当日は、受験票を必ずお持ちください。万一紛失した場合は、再発行しますので、学務部教務課 国際政治経済学研究科担当へご連絡(試験当日は来室して)ください。
- ⑩障がいや疾病、怪我などにより受験及び修学上の合理的配慮が必要な場合、「障がいのある学生の受入れ方針」に基づき、受験時に合理的配慮を提供します。合理的配慮を希望する方は、出願期間前に学務部教務課国際政治経済学研究科担当に問い合わせてください。なお、場合によっては健康診断書等の提出を求めることがあります。

合格発表・入学手続

■国際政治学専攻

■国際経済学専攻

■国際コミュニケーション専攻

第一次審査合格発表			第二次審査合格発表			入学手続締切日
2026年 1月30日(金)	13:00	大学公式サイト (備考3参照)	2026年 3月6日(金)	13:00	大学公式サイト (備考3参照)	2026年 3月12日(木)

備考

1. 合格者には、入学手続書類を送付しますので、入学手続要項にしたがい、入学手続締切日までに手続を完了してください。
2. 入学手続に際しては下記のものがようになります。詳細は合格者にお送りする入学手続要項を参照してください。
 - ・住民票または住民票記載事項証明書
 - ・カラー写真1枚(タテ4cm×ヨコ3cm：学生証作成用)
 ＊入学手続の際に提出する学生証用の写真は、出願時と同じ写真を提出
3. 合否結果は、大学ホームページ「大学院入学試験等に関するお知らせ」(下記URL)にて発表します。
<https://www.aoyama.ac.jp/admission/graduate/information/index.html>

青山学院大学若手研究者育成奨学金

青山学院大学若手研究者育成奨学金は、青山学院大学大学院において、博士後期課程又は一貫制博士課程に優秀な学生を受け入れ、又は若い人材の本大学院への進学意欲若しくは本大学院に在学する学生の学修意欲を増進させ、もって本大学院の活性化を促進し、高度な専門性と研究能力を備えた社会に貢献する若手研究者の育成に資することを目的とする給付奨学金の制度です。※貸与奨学金ではありません。

奨学金概要

奨学給付額

年間授業料相当額

給付方法

各学年の学費納付時において、年間授業料相当額の納付を免除 ※学費一部負担あり

給付期間

博士後期課程の標準修業年限

一貫制博士課程の3年次～5年次（3年間）

申請期間

博士後期課程〈一般入試〉の出願受付期間に準ずる

申請方法

入学志願票の所定欄に記入

採用者の決定

選考結果の通知 入学試験合格発表時

申請資格

2026年度以降において次の（1）～（3）のすべての条件を満たしている者

（1）次のいずれかの条件を満たす者

イ 本大学院の博士後期課程に入学する者

ロ 本大学院の一貫制博士課程の3年次に編入学する者

ハ 本大学院の一貫制博士課程に在学する者で、3年次に進級するもの

（2）奨学金の給付を受ける初年度の初日の前日において、満30歳未満である者

（3）国費留学生でない者

※「青山学院大学経済支援給付奨学金」「青山学院万代基金給付奨学金」等、他の学内給付奨学金との併給は不可です。

学費等

費 目		金 額	備 考
学 費	入 学 金	※ 290,000 円	入学時のみ ①
	授 業 料	217,500 円	年額 435,000 円(後期分 217,500 円は後期納入)
	在 籍 基 本 料	40,000 円	年額 80,000 円(後期分 40,000 円は後期納入)
	施 設 設 備 料	50,000 円	年額 100,000 円(後期分 50,000 円は後期納入) 2 年次 前期・後期 各 50,000 円 ②
	教 育 活 動 料	50,000 円	年額 100,000 円(後期分 50,000 円は後期納入) 毎年納入
	(小 計)	647,500 円	
諸 会 費	後 援 会 費	2,500 円	年額 5,000 円(後期分 2,500 円は後期納入) 毎年納入
	学 会 費	2,500 円	年額 5,000 円(後期分 2,500 円は後期納入) 国際政治経済学会 毎年納入
	◎校 友 会 費	30,000 円	入学時のみ ③
	(小 計)	35,000 円	
入学時納入金合計		682,500 円	(後期分学費等を含まず)
初年度納入金合計		1,045,000 円	後期分学費等 362,500 円を含む

(学費等に消費税は課税されません)

◎印の校友会費は、退学、除籍の場合には、校友会本部事務局に申請し返還を受けることができます。

備 考

1. 入学手続き時に後期分学費等を併せて納入することもできます。
2. 本学大学院修士(博士前期)課程及び専門職学位課程出身者は上記備考欄の①、②、③については次のとおりとなります。
 - ①入 学 金：本学修士(博士前期)課程及び専門職学位課程修了者(見込を含む)は全額免除
 - ②施設設備料：本学修士(博士前期)課程及び専門職学位課程修了者(見込を含む)は全額免除
 - ③校 友 会 費：本学出身者(学部卒業者及び大学院修了者)は納入不要
3. 学費等の改定について
今後、経済情勢に応じ、学費等の改定が行われた場合は、在学生にも改定後の学費等を適用することがあります。

入学辞退願提出について

本大学院の入学手続を完了した後、やむを得ぬ事情により入学を辞退することになった場合、「入学辞退願」が2026年3月31日(火)までに受理されたものは、入学金を除く納入金を返還します。

- (1)「入学辞退願」用紙の請求先・提出先

青山学院大学 学務部教務課 国際政治経済学研究科担当

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25

電話 03 (3409) 9523

- (2)「入学辞退願」等の提出について

提出締切日時：2026年3月31日(火) 17時(窓口閉室時間)

郵送の場合は簡易書留郵便で上記日時消印有効

提出書類：①「入学辞退願」(本学所定用紙) ②「振込金受取書」

一般的注意事項

- ①本大学院の授業は、青山キャンパスで実施します。
- ②改姓等により、証明書等の記載氏名が現在の氏名と異なる場合は、志願者にかかわる証明書として確認できませんので、氏名変更(改姓等)の事実が確認できる公的証明書(戸籍抄本等)を必ず提出してください。
- ③修了見込で出願していた者で、2026年3月末日までに修了(修士学位取得)できなかった場合は、入学資格を満たせなかったこととなりますので、入学手続を完了していても本大学院に入学することはできません。
- ④本学学生は、他大学大学院及び本学の他研究科または他専攻、並びに他大学及び本学の学部と併せて在学することはできません。
- ⑤出願書類への虚偽の記載や証明書等の偽造が確認された場合は、入学試験の結果を無効とし、入学後であっても遡って入学の資格を取り消すことがあります。その場合、提出された書類およびそれまでに納入された費用については返還しません。
- ⑥受験、入学手続等については、学務部教務課 国際政治経済学研究科担当[直通電話 03 (3409) 9523]にお問い合わせください。ただし、可否に関する問い合わせには一切応じません。
- ⑦教育職員免許状や各種資格(司書教諭、司書、社会教育主事、学芸員)の取得に関する不明点については、出願前に教職支援センター[直通電話03 (3409) 9634]に問い合わせてください。
- ⑧試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し治癒していない者は、他の受験者への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めたときは、この限りではありません。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置、入学検定料の返還は行いません。
- ⑨入学時期は4月です。

教員組織 ◎教員組織は2026年度予定のものです。今後変更もあり得ることをご承知おきください。

国際政治学専攻

職 名		氏 名	専 門 分 野
教 授		阿部 達也	国際法
		泉川 泰博	国際関係論（特に国際関係理論、安全保障論）
		林 載桓	比較政治学、現代中国政治論
		武田 興欣	現代アメリカ政治論
		藤重 博美	国際関係論（特に平和活動・平和構築研究、国際機構論）
		和田 洋典	国際政治経済学、比較政治学
		渡邊 理絵	国際・比較環境政治・政策
准教授		倉松 中	外交史、イギリス政治外交史
		佐桑 健太郎	国際政治学（特に安全保障・紛争論）
		佐竹 知彦	国際関係論、アジア太平洋の安全保障、日本や豪州の外交安全保障政策
		武田 健	国際関係論、EUの政治、欧州の政治、地域統合論
		中山 裕美	国際政治学
		BOYD, James P.	現代日本政治、比較政治、日米関係、ナショナリズム論

国際経済学専攻

職 名		氏 名	専 門 分 野
教 授		内田 達也	応用ミクロ経済学（特に産業組織）
		内山 義英	貿易論
		NGUYEN, Quoc Hung	応用経済学、マクロ経済学、国際経済学
		島村 靖治	開発経済学(主にミクロ実証分析)、応用計量経済学、農村社会調査
		沈 承揆	労働経済学、国際経済学
		竹田 憲史	国際金融
		鶴田 芳貴	産業組織論、競争政策論、応用計量経済学
		友原 章典	国際経済学
		中川 浩宣	国際金融、国際マクロ経済学
		野村 親義	経済史（特にインド経済史）
	※	藤田 幸一	農業経済学、開発経済学、南アジア・東南アジア地域研究
		山下 直輝	国際経済学（国際貿易）、多国籍企業論、イノベーション経済、アジア経済発展
准教授		岡部 智人	公共経済学（特に政治経済学）、公共選択、財政学
	※	瀬尾 佳美	環境経済学

国際コミュニケーション専攻

職 名		氏 名	専 門 分 野
教 授		井川 肇	理論言語学
		抱井 尚子	混合研究法、文化心理学、ヘルスコミュニケーション
		勝又 恵理子	教育学、異文化コミュニケーション
		國分 俊宏	比較文化、フランス文学
		猿橋 順子	社会言語学、言語政策、国際コミュニケーション
	※	末田 清子	コミュニケーション学、異文化コミュニケーション
		田崎 勝也	文化心理学、対人／異文化コミュニケーション論、心理統計学
		陳 継東	中国思想、日中文化交流、仏教学
		PODALKO, Petr	ロシア文化論、比較文化論、ユーラシア諸国歴史
		渡邊 千秋	スペイン現代史
准教授		市来 弘志	中国魏晋南北朝史、中国歴史地理
		奥村 キャサリン	異文化コミュニケーション、移民研究、異文化研究
		CHENG, John W.	人文・社会、社会心理学
		鳥塚 あゆち	文化人類学、ラテンアメリカ地域研究
		西村 康平	理論言語学、音韻論

※印がついている教員は学生を募集しません。（2026年度なし）
（博士後期課程 標準年限3年のうちに本学院定年規則に達するため）

青山学院教育方針

青山学院の教育は
キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、
神の前に真実に生き
真理を謙虚に追求し
愛と奉仕の精神をもって
すべての人と社会とに対する責任を
進んで果たす人間の形成を目的とする。

青山学院スクール・モットー

地の塩、世の光
The Salt of the Earth, The Light of the World

青山学院大学の理念

青山学院大学は、「青山学院教育方針」に立脚した、
神と人にとり仕え社会に貢献する
「地の塩、世の光」としての教育研究共同体である。
本学は、地球規模の視野にもとづく正しい認識をもって
自ら問題を発見し解決する知恵と力をもつ人材を育成する。
それは、人類への奉仕をめざす自由で幅広い学問研究を通してなされる。
本学のすべての教員、職員、学生は、
相互の人格を尊重し、建学以来の伝統を重んじつつ、
おのおのの立場において、時代の要請に応えうる大学の創出に努める。

志願票NO.1

◎下記すべての項目について必ず記入すること。(但し、論文を書いていない場合は題目の記入不要。)

卒業論文題目			
修士論文等題目			
学部における主な研究内容			
研究科における研究内容			
入学後の研究主題及び研究計画の概要			
研究指導を希望する教員名 (要項に記載された教員1名を記入)			
青山学院大学若手研究者育成奨学金給付希望	☐ する ・ ☐ しない (申請資格のある方はいずれかを○で囲んでください)		

2026年度 青山学院大学大学院 受験票

課 程	修士課程 ・ 博士後期課程
種 別	一般入試(秋・春)・社会人入試(秋・春)・ 外国人留学生入試・アカデミックリターン入試
研究科	国際政治経済学研究科
専 攻	
コース	
選択外国語科目 *博士後期課程 国際コミュニケーション専攻のみ	
英語 ・ 日本語 ・ ()	
* 通信欄	

受験番号	*
フリガナ	
氏 名	

筆記試験の場合
 1.試験開始10分前までに試験場に入室すること。
 (筆記試験の時間は入学試験要項で確認してください)
 2.受験中は本票を机上に置くこと。

* 受付印

2026年度 青山学院大学大学院 写真票

課 程	修士課程 ・ 博士後期課程
種 別	一般入試(秋・春)・社会人入試(秋・春)・ 外国人留学生入試・アカデミックリターン入試
研究科	国際政治経済学研究科
専 攻	
コース	
選択外国語科目 *博士後期課程 国際コミュニケーション専攻のみ	
英語 ・ 日本語 ・ ()	

受験番号	*
フリガナ	
氏 名	

大学院使用欄

*

写真貼付

1. 4×3cm枠なし
2. 上半身正面脱帽
3. 最近3カ月以内撮影のもの
4. 全面糊付け
5. 裏面に氏名記入
6. カラー写真

記入の際の注意事項

- 1 該当する箇所に記入または○で囲むこと。
- 2 コース欄は修士課程 国際政治学専攻のみ記入すること。
- 3 * 印欄は記入不要

2026年度 国際政治経済学研究科 研究計画書

志望の専攻・コースを○で囲むこと。

志望の専攻を○で囲むこと。

国際政治学専攻

国際経済学専攻

国際コミュニケーション専攻

氏名	受験番号
フリガナ	
研究テーマ	

受験番号欄は未記入のこと。



(住所) _____

(氏名) _____ 様

研究科	専攻
国際政治経済学研究科	



(住所) _____

(氏名) _____ 様

研究科	専攻
国際政治経済学研究科	



(住所) _____

(氏名) _____ 様

研究科	専攻
国際政治経済学研究科	



宛名ラベル用紙

宛名記入ラベル用紙は「受験票」および「合格者受験番号表」送付用です。
3枚ともに送付先住所・氏名・専攻を記入のうえ、切り離して提出してください。



①収納証明書 *コンビニエンスストア支払いもしくはクレジットカードでの支払いの場合

貼付用紙

②振込通知書（大学院提出用） *金融機関から振込の場合

◎枠内を記入してください。

【入学検定料】

研究科	国際政治経済学研究科	専攻	専攻
受験番号 (記入不要)		課程 ○で囲む	修士・博士後期
フリガナ		連絡先	()
氏名			

※連絡先には日中連絡がつきやすい電話番号を記入のこと

- ①「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取り、はがれないように全面のり付けしてください。

① 収納証明書 貼付欄

はがれないように全面のり付けしてください。

支払方法（当てはまるものに○をつけてください）

- ・コンビニ
- ・クレジット

- ②金融機関にて必要金額を振込後、振込通知書（大学院提出用）をはがれないように全面のり付けしてください。
金融機関の収納印の無いもの、金額が訂正されたものは無効です。

② 振込通知書
(大学院提出用)
貼付欄

はがれないように
全面のり付け
してください。

振込金受取書
(兼手数料) 入学検定料

20 年 月 日			
金額	¥35,000		
先方銀行	三井住友銀行 渋谷支店		
受取人	預金種目	普通預金	口座番号
	8 3 2 9 7 6 0		
(学)青山学院検定(大学院A)			
御依頼人	様		
備考	手数料		
上記の金額正に受け取りました。		収納印又は振替印	
〈銀行取扱期限日〉 2026 年 1 月 7 日			

(取扱店 → 御依頼人(志願者))

《志願者が保管してください》

振込通知書(大学院提出用)
入学検定料

20 年 月 日			
金額	¥35,000		
先方銀行	三井住友銀行 渋谷支店		
受取人	預金種目	普通預金	口座番号
	8 3 2 9 7 6 0		
(学)青山学院検定(大学院A)			
御依頼人	様		
備考			
上記の通り振込みました。		収納印又は振替印	
〈銀行取扱期限日〉 2026 年 1 月 7 日			

(取扱店 → 御依頼人(志願者) → 大学院)

《出願書類の一つとして提出してください》

振込依頼書

科目

入学検定料

依頼日	20 年 月 日		電信扱	手数料			円
先方銀行	三井住友銀行 渋谷支店		金額	¥35,000			
受取人	預金種目	普通預金	口座番号	8 3 2 9 7 6 0			〈銀行取扱期限日〉 ※ 2026年 1月 7日 ※期限後の取扱不可
	ガクアオヤマカクインケンテイ(タイガクインエー)						
	(学)青山学院検定(大学院A)						
御依頼人	打電CD	6 0 1					
	カカナ氏名						
住所	漢字氏名						
	(電話)	-	-				
※取扱銀行へお願い FB処理をしていますので、打電CD・カカナ氏名の順序で打電して下さい。							

(取扱店保管)

A diagram of a linked list with seven nodes. Each node is a rectangle divided into two parts: the left part contains a digit, and the right part contains a pointer to the next node. The digits are 1, 5, 0, 8, 3, 6, and 6. A blue line connects the pointer field of the node containing '0' to the node containing '8'.

東京都渋谷区渋谷4-4-25

青山学院大学 学務部教務課

国際政治経済学研究科

入学願書受付係 御中

簡易書留
速 達
(二つ折厳禁)

フリガナ		
氏 名		
住 所	TEL. ()	
研究科・専攻 ・コース	国際政治経済学研究科 専攻 コース	
課 程	修士課程 ・ 博士後期課程	
入試種別	一般入試 ・ 社会人入試 ・ 外国人留学生入試 ・ アカデミックターン入試 その他の種別 []	